

事例番号 39

Keywords: 自閉症, 知的障害, VOCA, 単語カード, 課題学習, マッチング, 指導目標の達成

1. タイトル

トーキングエイドを使用して、語い学習の導入に取り組んでいる事例

2. 事例の対象となる児童生徒について

知的障害を伴う自閉症・7歳

3. 使用する機器と特長

トーキングエイトライト

4. 使用した機器を選定した理由

平仮名の文字盤で枠があるので、1文字ずつ区別がしやすい。音声化することができる。

5. 指導の内容

教室での個別の課題学習で使用。単語や動詞の単語カードを見て、トーキングエイドに入力して答える。単語カードを絵カードとマッチングさせている。

6. 支援機器の使用効果あるいは、指導の効果と支援機器の評価

文字盤を押して、音声化し、自分から発信することが楽しそう。

7. まとめと今後の課題

個別の課題学習の場面だけでなく、別の場面でも自分から発信できるようになっていくと良い。

※ 本事例（特別支援教育教材ポータルサイト掲載事例）は、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所「特別支援学校におけるアシスティブ・テクノロジーの活用ケースブックー49例の活用事例を中心に学ぶ導入，個別の指導計画，そして評価の方法ー」（2012/3）に記載された内容である。